

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.162

2016年12月18日  
日本共産党  
新潟市議会議員団  
電話 025-226-3450  
FAX 025-223-7748

12月議会

## 野本議員―住宅リフォーム助成の改善を求める 渡辺議員―介護サービスの質を落とすなと質問

野本孝子議員は12日の市議会で、地域経済と中小企業振興基本条例について、公契約条例の制定について、旧入舟小・豊照小の跡地活用について―の3点を一般質問しました。

健康すまいるリフォーム支援事業の「般枠」の復活を求める

野本議員は、2012年度に実現した「健康すまいるリフォーム支援事業」は、市民に広く活用され、補助額の10倍以上の経済効果をもたらしたが、2015年度から「一般世帯枠」をなくし子育て世帯に特化させたため、予算額も利用件数も激減したと指摘しました。

そのうえで、中小企業振興基本条例を生かすためにも、市民からも建築関連業者からも喜



野本孝子議員

ばれ、地域経済の活性化に効果があった「一般世帯枠」の復活を求めました。

市は高齢者を対象にリフォーム事業の拡大を表明

建築部長は「今後は高齢者の住まいの環境整備への支援についても検討をすすめ、高齢者の健康につながる住宅リフォームとして事業を拡大していきたい」との考えを示しました。

公契約条例の制定を求める

野本議員は、公共工事や指定管理、業務委託で働く労働者の賃金下限を定め、ワーキングプアをなくすための公契約条例の早期制定を市に求めました。

市民の声にもとづく入舟小・豊照小の跡地活用をもとめる

野本議員は、旧入舟小学校のグラウンドを残し、防災公園の機能を備えた広場として活用すること、旧豊照小学校の跡地の利活用については、全住民を対象としたアンケート調査を実施することを求めました。



渡辺有子議員

渡辺有子議員は13日、社会保障費の自然増の徹底削減方針に対する認識と対策について、健康寿命の延伸に向けて、介護保険の新総合事業について、福島県から自主避難している児童へのいじめ問題について―の4点を質問しました。

新総合事業に移行後も

介護サービスの質の維持を

渡辺議員は、新潟市は来年度から新総合事業を実施し、要支援1、2の高齢者の訪問介護とデイサービスを介護保険の給付から外して市の事業に移行することになるが、移行後もサービスの質を維持すべきだと、市の見解をた

だしました。市は「当面の間は、利用者が現在のサービスの継続利用を希望する場合には、『現行相当サービ

ス』を利用できるように運用していく」と答えました。

事業所への報酬単価の見直しを求める

渡辺議員は、「現行相当サービス」といっても、報酬単価が「月額包括報酬」から1回当たりの単価に出来高払いとなるため、事業者にとって減収となりサービス提供の持続が困難になると指摘し、見直しを求めました。

市は「月4回以上利用した場合、現行サービスと同程度の収入となるよう単価を見直した」と答弁しました。

相談者の介護給付を受ける権利を奪うな

また、渡辺議員は、相談窓口では、「基本チェックリスト」による判定で相談者の介護給付を受ける権利を奪わないよう、要支援・要介護認定を原則とすべきだとたざしました。

市は「あくまで本人や申請者の意向を尊重し、希望する方には認定申請をしていただく」と答弁しました。

### ◆市議団の今後の日程

19日(月) 各常任委員会(採決)  
20日(火) 各特別委員会  
22日(木) 議会運営委員会  
本会議(採決)